

ページ 2

【Basic Information / 基本情報】

Duration / 開催期間

説明：～年～月 から ～年～月まで

2016. 7. 29-2016. 7. 31

From 2016 July 29 to 2016 July 31

Staff / スタッフ

説明：青年会議所メンバーの参加人数

例：何人 ○○member

152MEMBERS

Sponsors / 支援者

説明：青年会議所以外のメンバーがいる場合のみ記載してください

例：○○市ボランティア団体等

大阪市教育委員会、特定非営利活動法人、志塾フリースクール、住吉大社、ジャガピーパーク、粉浜商店街、生國魂神社、日本ボーイスカウト大阪第 123 団、大阪スクールオブミュージック、四天王寺、大阪大学

Osaka City Board of Education, NPOs, Shijuku Free School, Sumiyoshi Grand Shrine, Jyagapee Park, Kohama Shopping Street, Ikutama Shrine, Osaka 123 Osaka Council, Osaka School of Music, Shitennoji Temple, Osaka University.

Budget 予算

説明：ドルで表示してください。

例：1 万円なら one hundred dollar

99,819 US\$

Profit / Loss 利益／損失

説明：基金を集めること以外は、0にしてください

0

In Which UN MDG best fit (if Apply)? UN MDGs の該当項目（もしあれば）

説明：

無  
NONE

Who is benefited? 誰の為に?

説明：活動エリアに住み暮らす人々 人

大阪市内に住み暮らす子どもたち（小学校 4 年生～6 年生） 120 名  
海外の子ども（9 歳～12 歳） 39 名

120 children living in Osaka city (4<sup>th</sup> to 6<sup>th</sup> grade of elementary school)  
39 Foreign children (9 to 12 years old)

Objective 目的

説明：(例 1) 子ども対象の事業をベースにして、参加者とメンバーの意識を変革を促し、前向きな変化を創り出すため

新たなつながりから生まれる可能性に関心を抱き、同じ時代を歩む仲間と支え合う関係を築き、自らの価値観にとらわれず多様性を受け止める素直な心を持ち、目標に向け挑戦していく行動力を携え、未来を拓く共創の礎となる子どもを育成することを目的としま

This program' s objective is to foster children who can do the followings:

1. Become interested in possibilities generated from the new connection.
2. Build mutually supportive relationships with their friends of the same generation.
3. Become enough honest to welcome diversity without being caught by their own values.
4. Take proactive actions to challenge their goals.
5. Become a cornerstone of co-creation in the future.

Overview 概要

説明：必ず結果と合致しているはず

新たなつながりから生まれる可能性に関心を抱き、同じ時代を歩む仲間と支え合う関係を築き、自らの価値観にとらわれず多様性を受け止める素直な心を持ち、目標に向け挑戦していく行動力を携え、未来を拓く共創の礎となる子どもを育成する目的とし事業を行いました。

- ① 子どもが、異なる環境で育ってきた同世代の子どもが様々な気持ちをもって、新たな仲間と一堂に集う機会を創出することで、異なった背景を有する人びととの関わりから生まれる新たなつながりが自らの彩る未来に関わっていることに気付いてもらいます。
- ② 子どもが、新たに出会った仲間と協同することから成功や失敗を繰り返し経験する機会を提供することで、一人ひとりが目指す目標の達成に向けて共に歩む仲間との間に生まれる喜びの分かち合いが自らの成長となるつながりを感じてもらいます。
- ③ 子どもが、世代や地域の枠を越えた多くの人びととのふれあいの中で、自身を取り巻く環境からは経験したことがない機会を幾度となく創出することで、自らの経験や様々な環境によって育まれてきた価値観にとらわれることなく、様々な多様性と価値観を真摯に受け止める豊かな感受性を育んでももらいます。
- ④ 子どもが、一人では到底乗り越えることが出来ない困難な課題に仲間と手を取り合い直向きに取り組んでいく機会を創出していくことで、自分自身が想い描いている大きな夢の実現に向けて行動し続けるチャレンジスピリットを湧き立たせていきます。
- ⑤ 子どもが普段の生活の中では経験することのない体験を通じて、自らの力で力強く生きていこうとする意志を同じ想いを持った仲間や大人に向けて自由闊達に表現する機会を提供することで、希望に満ち溢れた想いが響き合う未来を創造していく礎を築く意欲を高めていきます。

We ran this program in order to foster children who can do the followings:

- ・ Become interested in possibilities generated from the new connection.
- ・ Build mutually supportive relationships with their friends of the same generation.
- ・ Become enough honest to welcome diversity without being caught by their own values.
- ・ Take proactive actions to challenge their goals.
- ・ Become a cornerstone of co-creation in the future.

1. The Children of the same generation in this program have grown up in various environments with various feelings. By providing opportunities for them to see each other, we let them realize that a new connection with people with different backgrounds impacts their fruitful future.

2. The Children cooperate with their new friends in this program. By providing opportunities for them to experience success and failure repeatedly, we let them

get joy while cooperating with each other toward achieving the goal and feel that sharing the joy with friends connects to their development.

3. The children interact with many people across generations and community boundaries in this program. By providing opportunities for them to experience what they have not experienced in their daily life, we let them develop enough sensitivity to accept various values without being caught by their own values.

## Result 結果

説明：複数の短い文章になるように注意してください

目的がどのくらい達成できたか書いてください

上記の結果の想定外の結果を書いてください

上記の結果の確認方法を書いてください

検証結果を簡潔に書いてください

事業に参加した子どもたちから、心の変化をつかむためのアンケートを行い目的の達成を検証した。

Q1：新しく出会えた仲間は、今後のあなたに影響を与えますか？

A1：影響を与えると思うと回答した子どもは 145名、91.2%いました。

Q2：仲間同士で助け合うことができましたか？

A2：助け合うことができましたと回答した子どもは 153名、96.2%いました。

Q3：自分とは異なるいろんな考え方について知ることができましたか？

A3：知ることができましたと回答した子どもは 138名、86.8%いました。

Q4：しんどいこともあきらめずに挑戦することができましたか？

A4：挑戦することができましたと回答した子どもは 144名、90.6%いました。

Q5：この冒険を通じて、明日からがんばろうという気持ちをもつことができましたか？

A5：気持ちをもつことができましたと回答した子どもは 151名、95.0%いました。

## 検証

当事業を通じた様々な体験で、未来を拓く共創の礎となる子どもを育成することができたと考えます。

By giving questionnaires to participating children, we examined how they made positive change and how we could achieve our objective.

Q1. Do you think your new friends in this program will impact you in the future?

A1. 91.2% of children/145 children answered "YES"

- Q2. Were you able to cooperate with each other in this program?  
 A2. 96.2% of children/153 children answered “YES” .
- Q3. Were you able to recognize various values?  
 A3. 86.8% of children/138 children answered “YES”
- Q4. Were you able to take on a difficult challenge without giving it up?  
 A4. 90.6% of children/144 children answered “YES”
- Q5. Through this adventure, did you have the feeling of trying hard from tomorrow?  
 A5. 95.0% of children/151 children answered “YES”

#### Verification

Through letting children experience various things in this program, we could foster children who can create the future and become a cornerstone of co-creation.

#### Actions Taken 行動

説明：

2016年10月～2016年7月

- ① 子どもを取り巻く現状を知るため、行政、企業、市民へのフィールドワークを行った。
- ② フィールドワークの結果、親が子どもの将来を案じ成績や成果を過度に求めるがあまり、子どもが本来持っている無邪気さや元気良さ、失敗を恐れず挑戦していく積極性が減少していると判断したので、子どもが本来持っている豊かな感受性を携え、未来を拓く共創の礎となる子どもを育成する必要性を感じた。
- ③ 子どもが本来持っている豊かな感受性を発掘するための運動にはどのような手法が効果的か？を委員会メンバーで議論を重ねながら、行政、企業、市民などにも再度フィールドワークを行った。
- ④ 事業手法として仲間と助け合いながら困難なことにも挑戦する原体験をもってもらう「キッズアドベンチャー2016」を策定した。
- ⑤ 事業に賛同してくれる行政、企業、市民や海外 LOM を募った。
- ⑥ 大阪市内の公立小学校全校へ事業チラシ、ポスターの配布を行い、定員 120 名に対し WEB エントリー 329 名あり、海外 LOM から 39 名の参加者が確定した。対象者 159 名となる。

2016年7月

- ① 保護者向けオリエンテーションを行い、安全対策及び当日の概要を説明する
- ② ボランティア向けオリエンテーションを行い、事業目的、注意事項等を共有する。
- ③ 親子オリエンテーションを行い、主に子どもへのスケジュール報告、注意事項を説明し、チームビルディングをして仲間との結束をふかめてもらいました。
- ④ 設営スタッフオリエンテーションを行い、JCメンバーを対象に事業目的、注意事項、役割について説明した。
- ⑤ 海外チームを空港までお出迎えし、事務局や宿泊会場となる小学校でオリエンテーションを行う。
- ⑥ オリエンテーション終了後、ホームステイ先に到着

**【事業1日目】**

- ① 海遊館にて開会式を行う。地域中学校等のブラスバンド部に開会式で演奏をしてもらうことで、子どもの気分を高揚させ、これから始まる事業への不安な気持ちを払拭するとともに、会場の一体感を演出し新しい仲間と打ち解けやすい雰囲気を作りました。
- ② キャプテンラインに乗船し大阪の街を海から観て楽しんでもらう。
- ③ 下船しアイスブレイク会場にてアイスブレイクを行い昼食。
- ④ ウォークラリー①として大阪を象徴する場所が書かれた地図をもとに話し合いルートを選択し所要時間までに小学校に到着するというプログラムを行うことで、主体的に考え行動する意識をもってもらいました。
- ⑤ 小学校到着後、順次近所の銭湯に移動し入浴する。
- ⑥ 小学校に到着後、グラウンドにて「ビバ！絆深めナイト」として、夏祭りをイメージした屋台を出し、夕食をとりながら肝試しや盆踊りを楽しむ。
- ⑦ 体育館に女子、幼稚園教室に男子と別れ就寝する。

**【事業2日目】**

- ① 朝食、清掃後、住吉大社に移動し神輿についてのオリエンテーションを行う。
- ② 昼食後、神輿を担ぎ地域の商店街を巡行する。商店街が住吉大社に寄贈した子供神輿を担ぐことにより地域との協業がはかれ、また五穀豊穡や厄払いなど神輿本来の意義を知り、多様な価値観をもつ仲間と一緒に神輿を担ぐことによって一体感やつながりをもち素直な心が育成された。
- ③ 小学校に戻り、入浴とBBQを行った。自分たちの食事を自分たちで調理してもらいます。仲間と協力して楽しみながらそれぞれの役割を全うすることで、仲間を思いやる心を育み、チームの結束力を高めてもらった。
- ④ 保護者から事前に預かった手紙を子どもには内緒で配り、一人になって読んでもらうことで、自身に注がれている愛情や、自身が多くの想いを背負って生きていることに気づく機会とすることで、将来の夢を描き、その実現に向けて積極的に行動しようと

するチャレンジスピリットを抱いてもらう。

【3日目】

- ① 朝食後、小学校関係者へ全委員で御礼する。
- ② ウォークラリー②として小学校から大切なひとからの手紙を読んで自身に注がれている愛情や、自身が多くの想いを背負って生きていることに気づく機会とすることで、将来の夢を描き、その実現に向けて積極的に行動しようとするチャレンジスピリットを抱いてもらいました。
- ③ フェアウェルパーティーを行い、事業を通じて育まれた仲間を思いやる気持ちと未来への想いを発表してもらいます。

【事業終了翌日】

- ① 海外の子どもを空港まで送り事業終了となる。

October 2016 - July 2016

1. In order to know the current situation surrounding children, we conducted fieldwork to the administrative office, local companies and citizens.
2. As a result of this, we found out that parents overlooked the future of the child, and sought their results and achievements excessively. Children inherently possess innocence, vitality, and aggressiveness without worrying about making a mistake. However, we also found out that children were losing their nature due to their parents' attitude mentioned above. We felt the need to develop the rich sensitivity that children inherently possess and to cultivate children who can be a cornerstone of co-creation.
3. What kind of method is effective for the movement to find out the rich sensitivity that children originally possess? While discussing it repeatedly with committee members, we also conducted fieldwork again to the administrative office, local companies, and citizens.
4. The program "Kids Adventure 2016" was created so that children could have the formative experience of taking on a difficult challenge in cooperation with their friends.
5. We recruited administrative offices, companies, citizens and overseas Local Organizations who join in with this program.
6. We distributed flyers and posters of this program to all public elementary schools in Osaka city. There were 329 WEB entries for 120 seats. 39 participants from overseas Local Organization were confirmed. The total number of participants becomes 159.

July 2016

1. We held an orientation for the parents of participating children and told them about safety measure and brief overview of the program.
2. We held an orientation for volunteers to share this program' s objectives, precautions, etc.
3. We held an orientation for the parents and children to explain the schedule and the precautions, and to let them build a team and deepen a sense of unity with team members.
4. We held an orientation for JCI members to share this program' s objectives, precautions and their roles.
5. We welcomed overseas team members at the airport and held an orientation at the head office and an elementary school.
6. After the orientation, the overseas team members met their host families.

[Program Day 1]

1. We held the opening ceremony at the Osaka Aquarium "Kaiyukan." By having brass bands of local junior high schools etc. perform at the opening ceremony, the participating children raised their mood and dispel the uneasy feelings toward the program. We created a sense of unity and a friendly atmosphere so that the children could become friendly soon.
2. We got on a boat, "Captain Line," and let them enjoy the view of Osaka city from the boat.
3. After getting off the boat, they broke the ice while having lunch.
4. We conducted a walking rally #1 and gave the children a map where the places symbolizing Osaka are written. They selected a walking route based on the map after discussion and arrived at their destination, elementary school by the required time. By implementing this program, we gave them a consciousness to think by themselves and take initiative.
5. After arriving at the elementary school, they took a public bath.
6. We held an event, "Viva! Let' s Deepen Bonds Tonight" and set up stalls like a summer festival at the ground of the elementary school. They enjoyed dinner while trying courage test and Bon Dancing.
7. Boys and girls slept separately. Girls went to bed in the gymnasium and boys went to bed in the kindergarten classroom.

[Program Day 2]



1. After breakfast and cleaning, we moved to Sumiyoshi Grand Shrine and gave an orientation about “Mikoshi” (a portable miniature shrine).
2. After lunch, the children went around the local shopping district while shouldering the Mikoshi. By shouldering the Mikoshi donated by the shopping mall to Sumiyoshi Grand Shrine, collaboration with the local community could be built. In addition, the children recognized the original significance of Mikoshi such as praying for a huge harvest and protecting against misfortune. By carrying Mikoshi with friends with various values, honest minds were fostered with a sense of unity and connection.
3. After going back to the elementary school, the children took a bath and had BBQ. We let them cook their own meal. By fulfilling their own roles in cooperation with their friends while having fun, they fostered a mind to consider their friends and became more cohesive.
4. The parents wrote a letter to children in secret beforehand. We kept them and handed them out to the children in the program. By reading the letter alone, they realized the affection from their parents and noticed that they lived with parents’ expectations. By providing opportunities for them, we got them to have a dream for the future and to hold a challenging spirit of taking proactive actions toward achieving their dreams.

[Program Day 3]

1. After breakfast, we thanked all members of elementary school officials.
2. We conducted a walking rally #2. By reading the letter from the parents, the children realized their parents’ affection and noticed that they lived with parents’ expectations. By providing opportunities for them, we got them to have a dream for the future and to hold a challenging spirit of taking proactive actions toward achieving their dreams.
3. We held a farewell party and let the children make a presentation on considerations toward their friends nurtured through this program, and their dreams for the future.

[The day after the program ended.]

1. We sent overseas children to the airport. This was the end of the program.

Recommendations 考察や推奨

目的のうちどの部分が達成されたのか？

達成できなかった部分は、何か？

それは、なぜか？その改善策は？

【達成した目的】

アンケート結果にもある通り、新たに出会った仲間と助け合いながら自身との違いを知り、自らと向き合い挑戦する経験を通して未来に向かって力強く生きていく意志を持ってもらうことが出来ました。

【問題点】

- ・シミュレーション不足により現場対応が発生しました。
- ・真夏の事業だったため暑さによる軽度の熱中症が多数発生した。

【改善策】

しっかりとしたシミュレーションの共有が必要である。

[Achievements]

As the results of questionnaires shows,

1. The children could recognize various values through cooperating with their new friends.
2. They could have a will to live powerfully toward the future through taking on a difficult challenge.

[Problems]

- ・ We faced unexpected problems on site due to insufficient simulation.
- ・ Since this program was held in midsummer, many children had mild heat stroke.

[Improvements]

We need to simulate any situations beforehand and share the information with all JCI members.

部門 Best Inter-organization Collaboration Project

ページ 3

Objectives, Planning, Finance and Execution 目的、計画、財務、実施

What were the objectives of this program?

このプログラムの目的は？ ※200語まで

新たなつながりから生まれる可能性に関心を抱き、同じ時代を歩む仲間と支え合う関係を築き、自らの価値観にとらわれず多様性を受け止める素直な心を持ち、目標に向け挑戦していく行動力を携え、未来を拓く共創の礎となる子どもを育成することを目的とします。

The objective of this program is to foster children who can do the followings:

1. Become interested in possibilities generated from the new connection.
2. Build mutually supportive relationships with their friends of the same generation.
3. Become enough honest to welcome diversity without being caught by their own values.
4. Take proactive actions to challenge their goals.
5. Become a cornerstone of co-creation in the future.

How does this program align to the JCI Plan of Action?

この事業は、どのように JCI の活動計画と合っていますか？ ※200語まで

この事業は子どもが本来持っている豊かな感受性を磨くことができる事業です。海外の子どもを含む新たに出会った同世代の子ども同士が力を合わせ切磋琢磨する原体験を体験してもらうために、本事業に参加した市民、協賛企業、行政、各種団体と協力して子どもの育成に向けたコミュニティを構築して子どもたちを継続して育成していく活動計画が JCI の活動計画と合致していると考えます。

This program can cultivate children's sensitivity. Participating children met new friends of the same generation including foreign children in this program. We would like them to have the formative experience of working hard in cooperation with each other. In order to do so, we create a community where we can foster children continuously in cooperation with participating citizens, companies, government and organizations. From these points, we believe this program aligns to the JCI Plan of Action.

Was the budget an effective guide for the financial management of the project?

予算は事業の財務管理の為の効果的なガイドになりましたか？ ※150語まで

企業、市民からの協力をいただき、海外を含む 159 名の子どもを対象とした事業規模の割には費用を抑え運営することができた。

Because we receive cooperation from local companies and citizens, we were able to reduce expenses for the scale of this program targeting 159 children including foreign children.

How does this project advance the JCI Mission and Vision?

どうやってこの事業はJCIのミッションとヴィジョンを推進しましたか？

※200語まで

JCI MISSION

子どもが本来持っている豊かな感受性を発掘しより良い変化をもたらす力を青年に与えるために発展・成長を与える事業です。

JCI VISION

JCI 大阪は多くの能動的なリーダーを育成するプログラムを実施し、海外に目を向けグローバルなネットワークを構築していきます。

JCI Mission

This program provides development opportunities for children to discover the rich sensitivity that the children inherently possess, and make positive change.

JCI Vision

JCI Osaka runs a program to foster many active leaders, interact with foreign countries, and build a global network.







## 写真 4 枚

### ページ 4

Cooperation between the Local Organizations 地域組織同士の協力関係について

How did the two organizations work together?

どのように 2 つの組織は協働しましたか？ ※150 語まで

カンボジア、台北、タイ、のスタッフがチームを組んで意見を交わしながら、子ども  
の安全対策のためにファシリテーターとして 3 日間共に協働した。

JCI members from Japan, Cambodia, Taipei, and Thai made a team and exchanged opinions  
with each other. In collaboration with each other, we played an important role as a  
facilitator to keep children safe in the three-day program.

Describe how the tasks and planning of the project were divided between the  
organizations.

プロジェクトの仕事と計画がどのように組織で分けられたかについて述べてください。

※250 語まで

事業全般の事前準備を行い、カンボジア、台北、タイの同行した大人は子どもたち  
のファシリテーターとして参加して頂いた。

JCI Osaka organized the whole program. JCI members from Cambodia, Taipei, and Thai  
participated in this program as a facilitator.

### ページ 5

Impact on Members and Contribution to the JCI Vision

メンバーへの影響と JCI ヴィジョンへの貢献



How did the members of the Local Organizations benefit from running this project?  
どのように、LOMメンバーは、このプロジェクトを運営することから利益を得ましたか？  
※200語まで

この事業を運営することにより、子どもたちとの接し方、日本の伝統文化の再認識、地域社会との連携の大切さ、海外の人達との文化や価値観の違いを学ぶことができ、海外のJCIとの友情が芽生えた。また未来を担う子どもの存在の尊さ、子どもを育てていくことの大切さを学び、社会全体で育てていく環境の必要性を学んだ。

By running this program, we could learn how to contact with children, about Japanese traditional culture, the importance of collaboration with the local community, and about foreign cultures and a variety set of values. We also could build friendly relationships with foreign JCI members. In addition, we learned how the children are precious who are responsible for the future, the importance of nurturing children, and the necessity of creating the environment to foster children in the whole community.

How did the program advance the JCI Vision?

どのように、プログラムはJCI Visionを進めましたか？ ※200語まで

海外のJCIメンバーとの半年以上の連絡を取り合う中で、活発な意見交換ができ、大阪JCIも海外のJCIメンバーをおもてなしするためにメンバー一丸となって文化や価値観について学ぶ事ができ、グローバル・ネットワークを進めることができた。

While keeping in touch with overseas JCI members for over half a year, we could exchange active opinions. We also learned about various cultures and values through hosting overseas JCI members. For the reasons set forth above, we could advance the global network.







写真4

ページ6

Community Impact 地域社会への影響

How did the Local Organization measure community impact?

どのように、LOMは、このプログラムのために地域社会への影響を測りましたか？ ※  
200語まで

少子高齢化に伴い、一部地域の課題にもなっている休校小学校の有効活用として、事業中の宿泊先と選定しました。また地域の神社が主催する祭りに参加し、子ども神輿を担ぎ商店街を巡行するために商店街組合と協議を重ね、各店舗へ協力要請を行い地域社会へ働きかけた。

Along with the declining birthrate and aging population, effective utilization of closed elementary schools was an issue in some areas. To improve the situation, we utilized a school as a hotel accommodation during the program. Also participated in a festival sponsored by local shrines. The children walked along the local shopping street while shouldering “Mikoshi” (a portable miniature shrine). In order to do so, we had many meetings with the shopping district union and asked each shopping store to cooperate. In this way, we made an impact on the local community.

Describe the actual community impact produced by this project

このプロジェクトによって発生される実際の地域社会への影響を記述してください  
※300語まで

地域の神社が主催する祭りでは子ども神輿を担ぎ、商店街を巡行する子どもを観に来た父兄などを対象に商店街で使用できる割引クーポンを配り商店街での購買に影響を与えることが出来た。

The children walked along the local shopping street while shouldering “Mikoshi” (a portable miniature shrine) at a festival sponsored by local shrines. The parents observed their children at the festival. We gave the parents discount coupons that can be used in the shopping street, which impacted purchasing in the shopping street.











写真 4

ページ 7

Long-term Impact of the Program プログラムの長期的な影響

What is the expected long-term impact of this project?

このプロジェクトの期待される長期の影響は、何ですか？ ※200語まで

今回事業に参加した子どもの中から10年後20年後の大阪の都市のリーダーとして成長していくと考えます。

Some of the participating children in this program will grow up to be a leader of Osaka city in 10 to 20 years.

What changes would you make to improve the results of this project?

このプロジェクトの結果を改善するために、どんな改善策がありますか？

※300語まで

参加する子どもとその保護者や教育関係者だけでなく、一般市民や各種団体、企業などからの理解と参加、協力の輪を広げることが重要であり、大阪の都市全体で子どもの成長を応援する環境が必要だと考えます。

It is important to extend the circle of understanding, participation and cooperation of not only participating children, their parents or educators, but also of local citizens, various organizations and companies, etc. We think it is necessary to create the environment where we support children's growth in the whole community.







写真 4